



学校だより

第8号

発行日

令和7年11月26日

大有

教育目標
かしこく
なかよく
たくましく

全国学力・学習状況調査の結果と活用について

学力向上マネージャー

令和7年度の全国学力・学習状況調査は、全国の第6学年児童を対象に実施されており、本校では4月17日及び22日の2日間で行いました。今年度は、国語・算数に理科を加えた3教科の本体調査と、生活の様子を振り返る質問調査を実施し、その結果が文部科学省から送付されています。本校第6学年児童の結果の概要について、今回の結果とその分析を以下に示しました。本校における授業改善や指導の工夫を行い、子供たちの更なる学力向上に努めてまいります。

◆全国学力・学習状況調査の結果 ※()内の数値は、全国の正答率との差(%)

国語

よい傾向が見られた点

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から課題を決め、集めた材料を分析したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。(+15.6)
- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること。(+14.9)
- 図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(+13.8)

課題が見られた点

- ▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。(−7.7)
- ▲時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。(−3.8)

算数

よい傾向が見られた点

- 角の大きさについて理解すること。(+16.3)
- 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。(+15.0)
- 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶこと。(+12.8)

課題が見られた点

- ▲分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつかを数や言葉を用いて記述すること。(−9.7)
- ▲はかりの目盛りを読むこと。(−7.6)
- ▲「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すこと。(−7.6)

理科

よい傾向が見られた点

- 種子の発芽条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。(+25.7)
- 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現すること。(+14.9)
- 氷が解けてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解すること。(+14.7)

課題が見られた点

- ▲水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現すること。(−8.7)
- ▲乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関すること。(−6.2)
- ▲身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があること。(−3.9)

児童質問

よい傾向が見られた点

- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度(ほぼ毎日)使用しましたか。(+62.3)
- 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。(+28.4)
- 友達と考えを共有したり比べたりすることができる。(+26.8)
- 自分のペースで整理しながら学習を進めることができる。(+21.1)

課題が見られた点

- ▲自分には、よいところがあると思いますか。(−9.5)
- ▲自分で学び方を考え、工夫することができていますか。(−1.5)
- ▲課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。(−0.1)

子供たちが、自分で課題を見付けたり、課題を解決したりするための方法を判断する力、自分にとってどのような学習内容を、どのような方法で、どの程度取り組むべきなのかを判断し、実行する力を育成していくために、家庭学習の記録(スタディログ)の取組を全校で進めています。家庭学習を話題に、保護者の皆様に励ましの声掛けをしていただくことが子供の自己肯定感を高め、やる気を伸ばしていくことにもつながります。御家庭での御理解と御協力をお願いいたします。

学習発表会 大成功

10月25日(土)に学習発表会を実施しました。テーマ「届け感動 花咲く笑顔 みんなでやりぬく 最後まで」を合言葉に練習し、当日はたくさんのお客様の前でその成果を発表しました。低学年は、自分の出番で最高の発表を披露することができ、どの子どもも満足した表情でした。高学年は、自分たちでシナリオ、構成、音響などを話し合い、決定し、発表までやり遂げました。他にも係活動の場でも大活躍でした。全員が達成感に満ち溢れ、ひと回りも、ふた回りも大きく成長した姿が見られました。

自分や友達の頑張りを
伝え合う
「がんばったね」
「ありがとう」カード

学習発表会后、子供たちは、自分や友達の頑張りを認め合う「がんばったね」「ありがとう」カードで、思いを伝え合いました。また、保護者の皆様からは子供たちへ、感動や温かいメッセージをたくさんいただき、子供たちの喜びと励みになりました。廊下に掲示しておりますので、参観日等で御来校の際には、ぜひ御覧いただきたいと思ひます。

保護者からの温かいメッセージ

私の未来プロジェクト

11月14日(金)には、「私の未来プロジェクト」を実施しました。本校の3年生の子供たちが「命の尊さ」を知るとともに、自己肯定感を高めることを目的として行いました。助産師の さんが来校し、胎児の成長の様子、胎児の心音、誕生について分かりやすく説明し、「命ってすごい!」ということをお教えくださいました。胎児や新生児の人形を抱っこする体験では、自分が小さい頃のことを思い出しながら、喜びをかみしめている様子でした。

ゲストティーチャー来校

6年生の総合的な学習の時間「明日に向かって」では、ゲストティーチャーをお招きして、働くことの意義や仕事は出会いで決まることなどについて、6年生の目線で考えた講話をいただきました。子供たちは、真剣に耳を傾け、自分の職業観について考えを深めることができました。

みらいの教員育成プログラム

将来教員になる憧れのある旭川西高校の生徒4名が、学校実習に訪れました。授業参観に加えて、1日の学級担任の仕事や子供との関わり方について、体験を通して学びました。12月にも実習があり、最後は授業体験を行う予定です。

教育活動 充実しています!

異学年交流「縦割り班ランチ」

11月は、普段あまり関わる機会の少ない異学年の児童と一緒に給食を食べながら交流することで、思いやりやコミュニケーションの力を育むことを目的として縦割り班ランチが行われました。給食委員の子供たちが中心となり話し合いを重ね、座席は事前にくじで決めたり、上の学年は、下の学年が楽しめるようなクイズやお話を準備したりするなどしていました。始めは緊張した姿もみられましたが、共に過ごす時間が長くなるにつれ、会話が增え、楽しい雰囲気でもランチタイムを過ごすことができました。配膳から、最後の後片付けまで互いに思いやる姿が見られ、心温まる時間となりました。

校内作品展「のびようよ展」

11月25日(火)から、校内作品展「のびようよ展」が実施されています。図工の時間に制作した力作が展示されています。なお、今年度から、図工の鑑賞の力を生かして、子供たちが互いのよさや頑張りを見つけ合うことを大切にする視点から賞を廃止します。作品は、各教室前や職員室前廊下に展示しておりますので、全ての子供たちの頑張りをお見せし、ぜひ、御覧ください。